

イノセント・ボイス 12歳の戦場 (2004)

VOCES INOCENTES
INNOCENT VOICES

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 メキシコ

色彩 Color

時間 112分

初公開日 2006/01/21

公開情報 アルバトロス・フィルム

【キャッチコピー】

神様、きこえますか？

ぼくは戦わなければいけないのですか？

1980年、内戦下のエルサルバドル。懸命に生きる少年チャバの真実の物語。

【解説】

わずか12歳の少年が徴兵される激しい内戦下の中米エルサルバドルを舞台に、徴兵に怯えながらも、懸命に日々を生きるひとりの少年の姿を力強く描いた衝撃のドラマ。実際に内戦下のエルサルバドルで少年時代を過ごし、14歳でアメリカに亡命したオスカー・トレスの自伝的脚本を、「メッセージ・イン・ア・ボトル」などで知られるメキシコ出身のルイス・マンドーキ監督が映画化。

1980年代、エルサルバドルではアメリカの支援を受けた政府軍と、貧しい農民を中心に組織された反政府勢力FMLNとの激しい内戦が繰り広げられていた。父親がアメリカに去って以来一家の大黒柱となった11歳の少年チャバの日常も、友だちや好きな女の子との楽しい時間の一方で、家の中にまで銃弾の嵐が降り注ぐという常軌を逸した日々が続いていた。そしてそんなチャバに、さらなる過酷な運命が迫っていた。政府軍は少年たちが12歳になると、有無を言わず彼らを“兵士”として徴集してしまうのだった。やがて、ついに迎えた12歳の誕生日。その時、少年チャバが選択した運命とは。

【クレジット】

監督	ルイス・マンドーキ	Luis Mandoki	
製作	ルイス・マンドーキ	Luis Mandoki	
	ローレンス・ベンダー	Lawrence Bender	
	アレハンドロ・ソベロン・クリ	Alejandro Soberon Kuri	
原案	オスカー・トレス	Oscar Torres	
脚本	ルイス・マンドーキ	Luis Mandoki	
	オスカー・トレス	Oscar Torres	
撮影	ファン・ルイス・アンチア	Juan Ruiz Anchia	
プロダクションデザイン	アントニオ・ムーニョ＝イエロ	Antonio Muno-Hierro	
編集	アレシュカ・フェレロ	Aleshka Ferrero	
音楽	アンドレ・アブハムラ	Andre Abujamra	
出演	カルロス・パディジャ	Carlos Padilla	チャバ
	レオノア・バレラ	Leonor Varela	ケラ
	ホセ・マリア・ヤスピク	Jose Maria Yazpik	ベト叔父さん
	ダニエル・ヒメネス・カチョ	Daniel Gimenez Cacho	司祭

グスタボ・ムニョス
オフェリア・メディーナ
ヘスス・オチョア
エクトル・ヒメネス

Gustavo Munoz
Ofelia Medina
Jesus Ochoa
Hector Jimenez

アンチャ
ママトーヤ
バスの運転手